

152 しもふきあげいせき 下吹上遺跡



指 定 市 史 跡 昭和61年 9 月10日
所在地 協 和
所有者 佐 久 市



昭和51年（1976）に学術発掘調査を実施し、縄文時代前期関山式期の住居址1軒（4500年前）、縄文時代中期加曾利EIV式住居址4軒（4000年～4300年前）、縄文中期加曾利EV式住居址1軒（4000年前）の計6軒が検出された。中期の住居址のうち1軒は鉄平石を床に敷いた敷石住居址で注目に値する。また出土遺物も埋甕、深鉢形土器、打製石斧、磨製石斧、ノミ型石器、石鏃など多量に出土している。

本遺跡は、遺跡自体も極めて内容の濃いもので縄文時代の内容を知るには貴重である。